

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	若葉保育園
日時	令和7年9月11日

1. 活動テーマ

<テーマ>

全園児…葉っぱをしよう（葉っぱの日）

<テーマ設定理由>

・園庭の葉っぱを見て触ったり、こすってみたり、電子黒板に大きく映してして観るなど葉を五感で感じる。

2. 活動スケジュール

・3歳児の部屋を使って電子黒板のコーナーや葉っぱのポスターのコーナー、葉に触れるコーナー、葉のこすりだし絵コーナーなどを用意する。
 ・部屋全体をアトリエの見立て、クラスごとに子ども達が参加して好きなコーナーで葉っぱに触れる。
 ・各コーナーには担当の職員を配置して子どもとやり取りをする。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

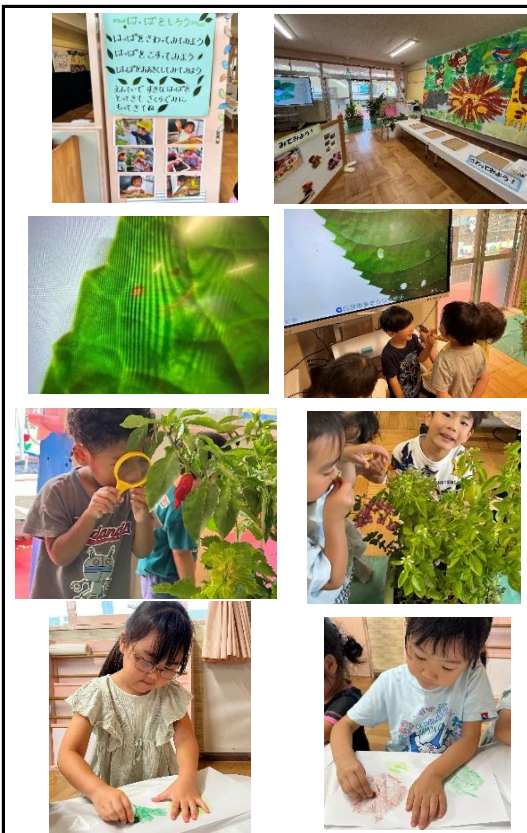
・葉っぱ（園庭で育てた葉、プランターの葉） ・電子黒板 ・机
 ・トレイ ・シート ・紙 ・こすり絵用クレヨン ・虫眼鏡

4. 探究活動の実践

<活動内容>

・園庭にあるバジルやホウセンカのプランターを部屋に運び、子どもが自由に葉に触ったり、葉を取って匂いや感触を味わえるようにする。
 ・葉に触れるコーナー…大小様々な種類の葉を用意して触って感触を味わったり、虫眼鏡でみたりする。
 ・電子黒板コーナー…自分で園庭から取ってきた葉や用意してあった葉を使い、大きく拡大して見せてもらう。葉脈や葉の模様を何かに見立てたてる子どもがいた。
 ・こすり絵コーナー…自分の好きな葉を選び、クレヨンを使ってこすり絵をする。いろいろな色を使ったり、何枚もこすり絵をする。
 ・こすった葉の絵を切り取り、ジャングルのポスターに好きなように貼る。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り>



・各コーナーに分かれて葉っぱに触れたり、見て感じたことを友達や保育士と共感する。
 ・電子黒板に映した葉が変色していて、その一部分が目と口に見えて「顔があった」と見つけた子がいて、保育士や友達に教えにあっていった。
 ・電子黒板に映した葉脈を指差し「ここは道路」、葉脈同士がくっついている部分の角を指さし「ここが家」、虫食いの穴を指差し「ここは、水たまり」と想像して保育士や友達に伝えていた。
 ・虫眼鏡を葉や実近づけ、じっと見る。
 ・プランターのバジルの葉に鼻を近づけ「ピザの匂いがする」と枝の周りを覗いた。色々な所から葉をちぎって匂いの嗅ぎくらべをする。
 ・線（葉脈のこと）がいっぱいある方がおもしろそうと言って色々な形や大きさの葉っぱで擦り絵をし、友達と見せ合っていた。
 ・茶色と緑色のクレヨンで色を分け、初めに緑色の擦り絵を指差し、「これは木になっている葉っぱ」次に茶色の擦り絵を指差し、「これは落ちて葉っぱ」と同じ葉でこすり絵をする。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・0歳児…保育士が「かさかさ」など言いながら葉っぱを触って見せると、一緒に触って音や指先で感触を感じていた。
 ・1歳児…部屋の雰囲気驚く子もいたが、保育士と一緒に葉っぱを見たり触ることで、興味を持って手に取って振ったり、虫眼鏡を使って葉を見ていた。
 ・2歳児…こすり絵は難しかった。プランターの葉っぱに興味を持って見てる子がいたり、活動とは離れてしまったが、ゴーヤやゴーヤの種に触れることができてよかった。
 ・3歳児…クラスで葉っぱに触れる機会が増え、興味や関心を持って参加していた。
 ・4歳児…こすり絵コーナーでは色や葉を変え、葉脈と葉の形の違いに気づく子がいたり、葉を観察している子がいた。電子黒板で葉を拡大し、葉脈違い（直線）に気づくなどがあった。
 ・5歳児…わたやゴーヤの種を電子黒板で拡大して見ると「植えた種と同じだ」と気づき、種探しになってはしまったが、植物の生長に関心を持てたと思う。
 ・こすり絵は、薄い葉は適さず、凸凹がはっきりした葉の方がやりやすかったので、涼しくなったら園庭でこすり絵をしたり、まだ植えている植物の葉を電子黒板で拡大して葉脈を見る活動へと繋げたいと思う。